

令和 8 年度 地域振興推進費事業計画 (案)

(単位: 千円)

横断的な課題	No	事業名 (主担当課・所)	事業概要	R 8 予算額	R 7 予算額	増減	備考	信州未来 共創戦略
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり								
	1	健やか佐久プロジェクト ～さくさく野菜を食べよう！からだを動かそう！みんな健康づくり・フレイル予防～ (保健福祉事務所)	今後増加が見込まれる高齢者が健康的に長生きするために、高原野菜の産地があること、ポールウォーキング等の産業立地などの佐久地域の特徴を生かして、県民一人ひとりが日常的にスポーツに親しみ、ライフステージに応じた食生活や運動を實踐し、県民の健康増進を図る。 ○食育の推進と身体活動・運動習慣の普及のため、関係機関・団体等による連携会議の開催 ○佐久地域産野菜を使った料理レシピの情報発信や、身体活動向上のために取り組む関係機関・団体等による普及啓発フォーラムの開催等による、健康づくり・フレイル予防に向けた取組 ○食生活の見直しやフレイル予防に関する講座を開催し、健康ボランティアを養成	600	600	0	H29～、10年目	4-3 社会課題の解決のために様々な主体で共創しよう
	2	若手狩猟者育成事業 (林務課)	狩猟技術の習得支援やその魅力発信を行い、新たな有害鳥獣捕獲の担い手の確保と地域への定着を促進する。 ○佐久管内の狩猟者を対象に、県有林をフィールドとして、狩猟技術の習得支援や魅力発信を行う研修会を開催 ○研修会参加者が同じ地域の狩猟者との繋がりを持てるようコミュニティを設置	2,015	900	1,115	R 7～、2年目	4-3 社会課題の解決のために様々な主体で共創しよう
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり								
	3	生食ブルーの美味しさを佐久地域から発信！ (農業農村支援センター)	生食ブルーの認知度向上を図るとともに、県オリジナル品種「オータムキュート」の生産振興を図る。 ○生食ブルーを活用したメニューを楽しんでもらうスタンプラリーの開催	1,646	1,557	89	R 5～、4年目	4-1 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう
	4	佐久平 プレメディカルケア産業創出事業 (商工観光課)	健康長寿の先進地としての地域特性を活かし、病気の予防、早期発見・治療、健康増進等に関わるプレメディカルケア産業の創出を実現するため、地域の企業と医療機関・介護福祉施設が連携して、ものづくりとサービスが一体となった新たなビジネスモデルとなる製品開発を行う。 ○地元企業と医療機関・介護福祉施設等の連携による新たな製品の試作開発と販路開拓支援 ○「国際福祉機器展」における試作開発品の展示ブース出展、市場調査	1,348	1,568	△ 220	H29～、10年目 (※R 2までは佐久保健福祉事務所と共同実施、R 3未実施、R 4～単独実施)	4-1 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう
	5	初SAKE祝杯プロジェクト (商工観光課)	若年層の日本酒離れが顕著になっていることから、20代・30代へのアプローチを行い、日本酒振興を図る。 ○大学生に参画してもらい、日本酒についての学習会や日本酒関係者等との意見交換会を実施 ○佐久管内の「二十歳のつどい」において日本酒のPR、イベントを周知 ○大学生による「若者が若者に日本酒を伝える」イベント実施	450	1,491	△ 1,041	H30～、8年目 (R 2未実施)	4-1 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう
	6	【新規】 星降る高原 夜旅のすゝめ事業 (商工観光課)	佐久地域の観光資源や特産品の魅力を発信し、認知度の向上を図るとともに広域観光を推進する。 ○小海線の賞切列車によるツアーを実施し、星空やアクティビティなど佐久地域の魅力の発信と、特産品をPR	1,800	0	1,800	R 8 新規	4-1 世界を視野に付加価値労働生産性を高めよう
「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり								
	7	佐久地域の移住スタイル発信事業 (企画振興課)	佐久地域での働き方や移住者と子育てに関わる支援策等を発信することで、移住促進及びつながり人口の増加を図る。 ○地域の特色を活かした首都圏での移住相談会の実施 ○管内市町村や私立学校等と連携し教育移住を推進	496	570	△ 74	H29～、10年目	2 信州の強みを活かした移住・関係人口の増加
小計				8,355	6,686	1,669		

【令和 7 年度実施事業のうち令和 8 年度に地域振興推進費の活用予定がない事業】

事業名	令和 7 年度事業概要	R 8 予算額	R 7 予算額	増減
ゼロカーボンライフスタイル普及事業	気候変動に向けた佐久地域の先進的な取り組みを一般県民が知り、環境に配慮した生活を体験する機会を設けることにより、ゼロカーボンなライフスタイルの普及を図る。 ○気候変動全般と対策、竹林の状況や影響等について講演会や体験会を実施	0	66	△ 66
佐久地域農畜産物地消地産推進事業	佐久地域の宿泊施設における佐久地域産農畜産物の利用拡大をはかるため、関係機関と連携し、地消地産の地域内流通体制を確立し、意識的に佐久地域産農畜産物を使用する宿泊施設の増加を目指す。 ○市場関係者との地消地産流通体制の確立打合せ、モデル地域の設定 ○宿泊施設に対し、佐久地域産ブルーを提供し、メニューへの利用を促進 ○佐久地域産の農産物の魅力を発信するための勉強会を開催 ○直売所リストを利用した消費者への情報提供や、出荷者への出荷誘導の事例紹介等を行う直売所研修会の開催	0	421	△ 421
佐久地域観光振興事業	多様な観光資源を有する佐久地域であるが、従来の誘客では観光客の増加が難しい状況の中、様々な分野の方と意見交換しながら佐久地域の観光振興の推進を図る。 ○ブランド化、観光DX化、DMOの設立など、目指すべき佐久地域観光振興に向けて連携していくためのワークショップの開催	0	175	△ 175
佐久っとサイクルプロジェクト	長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cyclingプロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、佐久地域の魅力を盛り込んだ推奨ルートの作成と利活用により、サイクルツーリズムの推進を図る。 ○令和 3、4 年度に佐久地域産カラマツ材を使用し設置したサイクルラックのうち、損傷の激しいラックをメンテナンス	0	231	△ 231
若者向け佐久地域企業PRブックの作成	地元企業のPRブックを作成し、就職前の学生に配布することで、地元での就職を意識してもらうことにより、就職による人口流出を減少させる。 ○地元企業で働く女性のインタビューや、就職活動において女性が重視するポイントを満たす地元企業をまとめて紹介するPRブックを作成し、旧成人式など、域外へ出た学生が地元で集まる機会をとりえて配布	0	770	△ 770
小計		0	1,663	△ 1,663

	R 8 予算額	R 7 予算額	増減
合計	8,355	8,349	6